

2018年度大学推薦による国費外国人留学生（研究留学生）の募集について

2018年度大学推薦による国費外国人留学生（研究留学生）の募集が開始されました。

*この奨学金は、大学院レベルの外国人留学生として、新たに海外から留学する優秀な学生向けの奨学金です。また、申請書類は受入教員から提出されたもののみ受付します。学生個人の申請はできませんので、ご注意ください。

申請を希望される場合は、文部科学省ホームページ

http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ryugaku/1399511.htm

から、「募集要項」・「申請にあたっての留意事項」、各種「申請書様式」及び「作成・記入要領」で応募資格・条件を確認の上、必要書類を揃えて国際課に申込みください。

【学内メ切】平成30年2月2日（金）17時（厳守）

*成績証明書など、本紙の提出が期日まで間に合わない場合は、電子データを送付するとともに、事前に必ず連絡してください。

【応募資格・条件】

対象：大学院レベルの外国人留学生として新たに海外から留学し、日本政府と国交のある国の国籍を有する優秀な者

*直近2年間の学業成績が2.30（文科省基準）あり、奨学金支給期間も維持する見こみのある者 **【注】GPAではなく、文科省の評価ポイント基準による。**

年齢：1983年4月2日以降に出生した者

学歴：①外国において16年（医・歯・獣医学及び6年制薬学の履修者は18年）の課程を修了した者（見込みのある者）

②大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22才（医・歯・獣医学及び6年制薬学の履修者は24才）に達した者（見込みの者を含む。）

③博士課程修了者で、学位取得を目的としない者は、原則応募不可。

専攻分野：大学において専攻した分野、またはこれに関連した分野（受入大学で研究が可能であること。）

渡日時期：2018年9月末（岩手大学在籍開始は10月1日）

◎日本留学中、広く地域の活動に参加し、自国と日本との相互理解に貢献するとともに、卒業後も留学した大学と緊密な連携を保ち、卒業後のアンケート等に協力する他、帰国後に自国の在外公館等の事業に協力し、自国と日本の関係向上に努める者。

*複数の大学による同一人物の推薦、他の支援制度との併給を認めない。

判明した場合、問題があれば当該大学の全ての候補者を採用しない場合がある。

*日本以外でのフィールドワーク、インターンシップ等を希望している者は採用しない。

*採用された場合、採用者に関する情報（氏名・国籍・配置大学・研究科（学部）・専攻分野・在籍期間・修了後の進路）を、修了後、日本政府が実施する留学生事業に利用する目的で関係機関と共有したり、公表することを了承しないと採用しない。（誓約書に明記する。）

【推薦人数について】

1. 岩手大学からの推薦可能数：平成30年度は「2名」

様式自由で、推薦理由書（大学の国際戦略上必要がある等理由を明記）を添付すること。

* 2名を超える応募があった場合、推薦順位3位以下になる者については、渡日・帰国等の旅費を大学が負担する条件で推薦が可能。（最大2名。）

2. 推薦にあたっては、「世界の成長を取り込むための外国人留学生の受入戦略」に定められている重点地域（①ASEAN、②ロシア及びCIS諸国、③アフリカ、④中東、⑤南西アジア、⑥東アジア、⑦南米、⑧米国、⑨中東欧）からの受入を重視する。

* 重点地域以外からの推薦は、推薦者数全体の25%以下とすること。

3. 研究生等（非正規生）から大学院の正規課程に、大学院修士課程から博士課程に進学希望の者で、一定基準を満たす成績の特に優秀な者については、奨学金支給期間の延長審査を受け期間の延長が認められる場合もあるが、全員が必ず認められるものでないことに留意すること。

① 研究生（非正規生）として延長することはできない。

② 研究生として在籍する期間内に、正規課程の試験に合格できない場合延長することはできない。

③ 延長申請し採用された後に、延長しないで帰国する場合は、帰国旅費を支給しない。

④ 研究生から正規の大学院へ進学する場合、修士課程から博士課程に進学する場合、他大学への進学を認めない。

【留学生作成・提出書類】

1. 申請書（別紙様式7）

2. 専攻分野及び研究計画（別紙様式8）

3. 所属大学等の研究科長レベル以上の推薦状（岩手大学長宛）

4. 写真（6ヶ月以内に撮影したもの、電子データ可）

5. 本国の戸籍謄本・市民権・パスポート等の証明書写し（国籍身分のわかる証明書）

6. 最終出身大学（学部又は大学院）の成績証明書（出身大学発行のもの）

7. 最終出身大学（学部又は大学院）の卒業（見込み）証明書または学位記（写し）

8. 最終出身大学において優秀であることを証明する学業成績（GPA,順位がわかるもの）

9. 論文概要等（学位論文要旨）

10. 語学能力、専門能力を客観的に示す材料（TOEFL、TOEIC、日本留学試験日本語科目、日本語能力試験等の成績表）

* 日本語・英語以外の場合は、必ず訳文を添付すること。

【受入教員作成書類】

1. 推薦調書（別紙様式1）

2. 総合成績評価報告書（別紙様式3）

* 推薦者に可能な限り面接を実施して記載すること。（面接が難しい時は、インターネット等によるインタビューを適切に実施すること。）

【参考】

文部科学省ホームページ

http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ryugaku/06032818.htm

募集要項・申請にあたっての留意事項

http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ryugaku/1399511.htm

世界の成長を取り込むための外国人留学生受入戦略（報告書）

http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ryugaku/1342726.htm

重点地域の国について

http://www.jasso.go.jp/ryugaku/tantoshu/study_j/scholarship/shoureihi/_icsFiles/afieldfile/2017/10/23/h30jutenkokulist.pdf